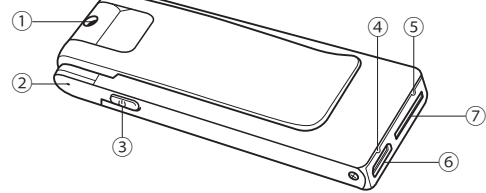
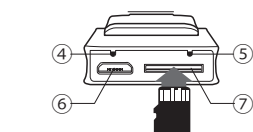


【本体】



【microSDカード挿入口面】



※端子面を上にして挿入してください。
※カードは真っすぐスロットに挿入してください。
※隙間部分に誤ってカードを挿入しないようにご注意ください。

※microSDカードは付属しません。
※端子面を上向きに「カチッ」と音がするまで奥まで差し込んでください。
※抜くときは再度「カチッ」と音がするまで押し込みロックを解除します。



無理に押し込むと破損します！
正しくケーブルが挿し込まれている状態で約3mm程の隙間ができます。力を込めずにゆっくりと押し込むようにしてください。

- ①カメラレンズ ②マイク ③電源／撮影ボタン ④ステータスランプ ⑤リセット穴 ⑥USBケーブル接続口
⑦microSDカード挿入口

1) ご使用前の確認及び注意事項

- 本製品をご使用頂く前に必ずmicroSDカード（別売）をセットしてから操作を行ってください。（※8GB～最大32GB対応）
- 本製品をご使用頂く前に、必ず充電を行ってから操作を開始してください。
- 保存処理及び内部処理に時間がかかる場合がありますので、連続したボタン操作は数秒の間隔をあけて行ってください。
- 連続してボタン操作をすると操作不能になることがあります。その場合はリセット処理を行ってください。
- 撮影はバンフォーカスの為、被写体から最低でも約50cm以上離して撮影してください。
- 本製品は専用ケーブルを使用している為、他のケーブルでは接続はできません。
- 連続で撮影を行う場合、本体が熱をもつことがあります。製品の故障ではありません。
- 繰り返し録画がoffの場合、メモリが一杯になると録画は自動で停止します。また、メモリが一杯の状態または繰り返し録画がonの状態でもメモリ残量が十分ではない場合、録画または録音を開始すると、ステータスランプ④が赤色点灯＋青色点滅後、消灯し電源がオフになります。

2) 充電方法

- 本体USB接続口⑥に付属のUSB接続ケーブルを繋ぎ、パソコンと接続（バスパワー）し充電します。または、ACアダプター（別売）に接続しコンセントから充電します。
- 接続するとステータスランプ④が赤色に点滅し充電中であることをお知らせします。
- バッテリーが空の状態より約3時間を目安に充電を行ってください。
- ※パソコンまたは、ACアダプタとの接続を外しても、本体の電源が約30秒間、オンの状態（赤ランプ④点灯）になり、約30秒後ステータスランプ④が消灯し、電源がオフになります。

3) 電源操作

- 電源 ON：電源／撮影ボタン③を長押し（約2秒）すると、電源がオンになり、ステータスランプ④が赤色に点灯し待機状態になります。
- 電源OFF：待機状態（赤ランプ④点灯）で電源／撮影ボタン③を長押し（約2秒）するとステータスランプ④が消灯し電源がオフになります。
- ※待機状態（赤ランプ④点灯）で、約30秒間何も操作を行なわないと、自動で電源がオフになります。

4) 通常録画

- 録画開始：待機状態（赤ランプ④点灯）で電源／撮影ボタン③を押すと、ステータスランプ④が青色に点灯後、消灯し録画を開始します。
- 録画停止：録画中に電源／撮影ボタン③を押すと、録画を停止し、ファイルを保存後、ステータスランプ④が赤色に点灯し待機状態に戻ります。

5) 動体検知モード

- ※動体検知モードは本体とパソコンを接続し、パソコン上で設定する必要があります。設定方法は【9）設定方法】を参照してください。
- 待機状態（赤ランプ④点灯）で電源／撮影ボタン③を押すと、ステータスランプ④が青色に点灯後消灯し、動体検知待機状態になります。
- 動きを検知する度に録画を開始し、自動的に一定時間ごとに1ファイルとして保存され、動体検知待機状態に戻ります。
- 動体検知待機状態、または動体検知録画中に電源ボタンを押すと、ステータスランプ④が赤色に点灯し待機状態に戻ります。
- ※動体検知録画中、および待機中、ステータスランプ④は消灯したままとります。
- ※録画ファイルは一定時間ごとに1ファイルとして保存されます。

※動画撮影は通常録画、動体検知モードのどちらかを選択する仕様となります。

6) 録音機能

- 録音開始：待機状態（赤ランプ④点灯）で電源／撮影ボタン③を2回押すと、ステータスランプ④が青色に3回点滅後、消灯し録音を開始します。
- 録音停止：録音中に電源／撮影ボタン③を2回押すと、録音が停止し、ファイルを保存後、ステータスランプ④が赤色に点灯し、待機状態になります。

7) 外部電源機能

- ※本製品は外部電源を利用し充電中でも、各種撮影機能が使用できます。
- 本体にmicroSDカードをセットした状態で、ACアダプター（別売）を使用し充電を開始すると本体の電源スイッチがオフになっていても、自動で電源がオンになりステータスランプ④が赤色に点滅し、充電時の待機状態（赤ランプ④点滅）になります。
- ※本体がフル充電だと、ステータスランプ④は赤色に点灯します。
- この状態から通常と同様の操作で、各種撮影機能が使用できるようになります。
- ※パソコンと接続（バスパワー）では、外部電源機能は使用できません。
- ※電源／撮影ボタン③を長押し（約2秒）すると、ステータスランプ④が消灯し、電源がオフになります。
- 電源がオフの状態を押しても電源が入らなくなります。再度外部電源を利用する場合は接続しなおしてください。

8) USBメモリ機能（データへのアクセス）

- 電源をオフにして、本体のUSB接続口⑥と付属のUSB接続ケーブルを繋ぎ、パソコンに接続します。
- パソコンのマイコンコンピュータに新しくリムーバブルディスクとして認識され、以後内蔵メモリ内にアクセスできます。（ドライブが認識されるまで10～15秒かかります）
- ※なお、本操作にドライバーのインストールの必要はありません。（対応OSは自動的にインストールされます）
- USB接続ケーブルを取り外す際は、OS指定の【ハードウェアの安全に取り外し方法】に従い正しく切断してください。
- ※認識が不安定な場合は、リセット処理を実行後、再度接続を直してください。
- ※ドライバーの不具合等で認識できない場合は、別のUSB接続ポートでの接続をお試しください。
- ※パソコンとの接続を外しても、本体の電源が約30秒間、オンの状態（赤ランプ④点灯）になり、約30秒後、ステータスランプ④が消灯し、電源がオフになります。

9) 設定方法（動体検知／タイムスタンプ／繰り返し録画）

- ※本設定方法で、動体検知録画のON/OFFを設定したり、タイムスタンプ（画像に表示される日付や時間）の変更ができます。
- 本体にmicroSDカードをセットしパソコンにリムーバブルディスクとして接続後メモリ内にアクセスします。（※8）USBメモリ機能参照）
- リムーバブルディスクを開いたフォルダー（ドライブの最上位）にあるテキストファイル「Set」をダブルクリックして起動します。
- ※テキストファイル「Set」は本体に電源を入れると自動で生成されます。
- ※拡張子を表示にしている場合は「Set.txt」と表示されます。
- 右図、記入内容を参考に必要事項を入力し保存します。

例) 動体検知：OFF
タイムスタンプ：表示
日時：2017年12月08日 15時55分30秒
繰り返し録画：ON

上記の設定をする場合、右図のように記入し保存します。
（※英数字はすべて半角入力）

Date/Time = 20171208155530	■記入内容
Motion 1080P = 0	【Date/Time (日時変更)】 2017年12月08日15時55分30秒／ 20171208155530
Off: 0	【Motion 1080P (動体検知)】 0: OFF / 1: ON
On: 1	【TimeStamp (画像への日時表示)】 0: 非表示 / 1: 表示
TimeStamp = 1	【Loop Record (繰り返し録画)】 0: OFF / 1: ON
Off: 0	
On: 1	

※【Motion 1080P】をOFFに設定すると、通常録画になります。

- ※microSDカード内にテキストファイル「Set」が自動で生成されない場合は、下記ページよりダウンロードしてください。

製品ドライバーダウンロードページ <http://www.onsquare.jp/support/>

10) リセット方法

- 充電後も電源が入らなかつたり、動作が不安定、フリーズ状態や正しい操作ができない場合などは、リセット穴⑤を先のものがつた、金属以外の物でカチッとなるまで軽く押してください。正しくリセットが行われると電源がオフになります。

Ver.02

《注意事項》

- ご使用中本体が発熱し多少熱くなる事がありますが、異常ではありません。
- バッテリー稼働時間はあくまでも目安であり稼働を保証するものではありません。
- 製品ケースや本体のデザインは予告なく変更される事があります。
- プライバシーの侵害・迷惑防止条例等に抵触する行為には使用しないでください。
- 輸入品につき、製品箱等にキズ／汚れがある場合がございます。

注意・警告



本製品は高精細画質の録画及び保存を行う為、バッテリーにはリチウム蓄電池を採用しております。リチウム蓄電池は、ニッケルベースのバッテリーよりも出力密度が高いのが特長です。そのため、より軽量ながら駆動時間も長いのですが、**高温・加熱のある場所では発火の可能性もありますので、ご使用や保管方法には十分ご注意ください。**またバッテリーを長持ちさせるため必要以上の過充電や過放電（完全に放電した状態）の状態で保存しないようご注意ください。（電池の寿命が極端に短くなります）ご使用にならない際は、充電が半分程度の容量がある状態で保存される事を推奨いたします。

SPYDERS X 公式サポートページ <http://www.onsquare.jp/support/>

この製品保証書は以下の保証規約に基づき、初期不良及び取扱説明書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合の無償修理・交換をお約束するためのものです。



- ① 保証期間について
保証期間は製品保証書に明記された期間とします。
- ② 製品交換・修理後の保証期間について
製品交換・修理後の保証期間は、元の保証期間の残存期間の満了日又は、交換修理された製品引渡し後、5日間の満了日のいずれか長い方とします。
- ③ 初期不良
製品購入後に不具合があった場合、原則交換させていただきます。製品購入日または製品到着日より、5日以内に販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。
- ④ 初期不良として応じられないもの
(ア) 販売店にて不良判断がなされていない場合。(お客様の使用環境による不具合・障害も含む)
(イ) お戻し頂いた商品に欠品がある場合。(化粧箱詰め全ての付属品が必要です。)
(ウ) 事前連絡なしに返送された商品
(エ) 配送後、商品に傷や破損が生じた商品
(オ) 譲渡・転売・中古販売・オークション等により入手された場合
(カ) 製品保証書・領収書(納品書)の証明がない商品(コピーで可)
- ⑤ 製品故障
ご使用后、製品に不具合が生じた場合、上記保証期間内に限り修理または交換させていただきます。
不良事象を販売店へお申し出いただき、上記保証期間内に指定の送付場所へ返送するものとします。
- ⑥ 保証期間内であっても、次の場合には原則として有償とさせていただきます。
(ア) ④初期不良として応じられないもので掲げた事項
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及びび損傷
(ウ) バンド交換等における製品本体への傷・破損がある場合の製品交換
(エ) 火災、地震、水害、落雷、その他付属品以外のACアダプタやケーブルなどによる故障及びび損傷
(オ) 製品検査後お客様の過失による製品故障及びび破損と判断された場合
- ⑦ 製品検査及び修理
お送りいただいた商品につきましては、メーカー指定の製品検査方法により、不良・故障の判断させていただきます。
なお動作チェックには、2〜3日お時間を頂く場合もございます。またその結果修理が必要な場合、さらにお時間を必要とする場合もございますので予めご了承ください。
- ⑧ 防水機能使用時の禁止事項(防水製品のみ)

■生活防水機能とは【防水性能の IIS に等級】

※4級 防まつ型（生活防水・汗や多少の雨など水圧がかからない水滴がついても大丈夫）

- 1) 製品表記の生活防水は濡れたままでの操作は保証されていませんのでご注意ください。
- 2) シャワーや手洗い等の水の直撃には耐えることが出来ません。
- 3) 蒸気に対しては防御されませんのでお風呂や温泉など湯煙などではご使用できません。
- 4) 用後はかならず乾いた布で拭いて水分を拭き取ってください。

防水気圧	○m防水	手洗い・雨	シャワー	プール	飛び込み	ダイビング
3	30	○	×	×	×	×
5	50	○	×	×	×	×
10	100	○	○	○	×	×
30	300	○	○	○	○	○
100	1000	○	○	○	○	○

I. 製品の不良や使用時の不注意に起因する他の機器の損害、及び運用上のお客様の不利益や損害に關しましては当社は一切の責任を負わないものとします。

II. MicroSD およびハードディスク内に蓄積されたデータに關して、いかなる場合においてもその保存及び保持は一切保証いたしません。

領収書／納品書添付欄

(購入先／購入日が判別できるものが必要です)

■製品不良事象記載欄（故障原因の早期特定のため不良事象は詳細に記載してください）

返品の際は、販売店および購入日がわかるもの(領収書や納品書)及び付属品、外箱等すべて揃っている事が前提となります。
また販売店へお伝えした不良事象を上記にご記入ください。